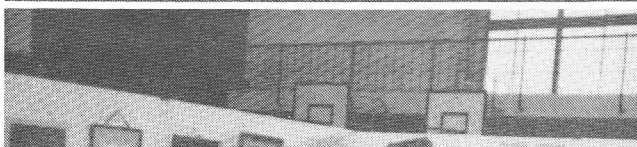


豊中市東丘公民分館

公民館だより

編集発行
東丘公民分館
広報委員会



文化祭に参加して

今年も文化祭が十一月二日(日)に行われました。夏の盆踊り大会での夜店の収益金によって買い整えられたパネルを利用し、体育館での展示も一段と多彩なものになりました。各住区の展示の他、

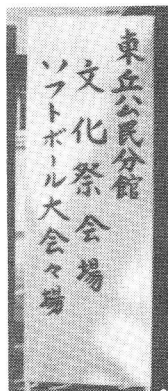
あかしや 高野清子

木彫アートフラワー、生け花の各サークル、それにメダカ学級の子供達の作品の展示もあり、大変はほえましく思いました。ステージでは、カラオケ大会も催され、お茶席のコーナーも設けられました。同時に、運動場では、ソフトボール大会も行われ、模擬店も出るなど、まさに高校・大学の学園祭を思わせるようでした。このように内容豊かな文化祭を見るにつけ、地域の自治活動が、一部の人間だけのものではなく、住民一人一人のつながりのあるものとなるよう、参加する人もしない人も意識を高めていかななくてはならないと感じました。来年の文化祭も是非見学させていただきたいものと、今からたのしみになっています。

東町に居住して十年になりますが、公民分館という名称、ましてやその活動内容を知ったのは、つい最近のように思います。六十一年度の活動に、運営委員として参加しましたが、先入観としてもっていた同好会的存在ではないことを知りました。毎年繰り返されている諸々の行事、これまでは一住民として、当りまえのこととして受け取っておりました。しかし、各々の行事が無事に遂行されるまでに、従事されておられる方々の膨大な時間が費やされていることも知りました。それらの努力を無駄にしないためにも、各自治会を通しての積極的参加を希望し、多くの方々の協力が欲しいものだと思います。そのためには、公民分館の活動が一部の方々のためだけではないということも、知らせてほしいものです。活動の内容を理解しあってこそ、より良い東町づくりが出来ることと思います。

アソカ幼稚園会長 吉山妙子

公民分館活動に参加して



ぼくの東町

第八中学一年 辻井是雄

ぼくがこの東町に引っ越してきたのは、ちょうど二十半ごろでした。その頃のこととはあまり記憶に残っていませんが、写真などを見ると、その頃の東町と今とはほとんど変わっていませんし、店なんかもほとんど変わっていません。全てが古くなっただけの様な感じですが。

小さい頃遊んだ竹やぶや、公園なども変わっていません。でもぼくは、そんな東町が好きです。都会に比べて、やっぱり緑や自然がこの東町にはたくさんあると確かにぼくもそう思います。この自然を守り続けて行きたいです。この先二十年、三十年たっても自然がたくさん残っている東町にしたいです。小さい頃と同じような東町にしたいと思います。

『ぼくの大好きな東町』



私たちの住んでいる街に関心を持ってみませんか？

◎東町には、11地区があります。それぞれの自治会活動も活発な活動をなされています。チョットお隣りさん地区に、東町全体に興味を持っていただければと、訪問リレーを始めました。

こんにちわ

リレー訪問
第1回

公団自治会会長 高橋英二さん

公民分館デース

■会長さん現在公団の所帯数は、どの位ですか。

「世帯数は、一五二世帯です。」

■自治会の会員数は、

「約六〇〇世帯です。」

■会長二年目で色々大変や思いますけど、どんな事を特に中心にやっておられますか。

「活動目標としては、路上駐車車の整理です。これはうちの団地の中では、今一番ネックになっている問題です。一つ間違うと人命にかかりますのでね、これだけは何とか全力を尽くして行きたい。現在市と交渉してはるんですが難航を来たしています。」

■どういう点で。

「団地内の空間を利用して、駐車場増設を考えているんですが、現在の路上駐車車が四〇〇台近くなんで、空間のほとんどが駐車場化してもまだ足りない状態なんです。それで外周道路の利用しかないんじゃないかと、市の方へ要望している訳なんですよ。」

■それについては、公団自治会だけじゃないに、東町十一自治会皆さんの協力も必要になってくるんじゃないですかね。

「必要ですけど、まとめる事が非常に難かしく、こういう問題を取り上げる場がない。連合の形がないんですね。だから現段階では各自自治会で考えていくしか方法がなさそうに思っている。将来は東町全体として考えるべき問題だと僕は考えている。」

■その他の行事としては、どんな事が……。

「文化レクリエーション行事が多いです。フットボール大会、囲碁大会位です。」

■自治会の組織としては、どういうものがあるんですか。

「会長一人、副会長三人です。一人は事務局、一人は生活安全部と文化レクリエーション部。一人は福利厚生部と住環境部をそれぞれ担当してもらっています。」

■この他に老人会もありましたね。

「老人会は、別の組織です。自治会の中に老人部はありません。」

■子供会はどうですか。

「ありません。地区児童会というのはあります。今年から自治会への参画を積極的に呼びかけているのですが……。本来子供は学校における時間より学校からはなれた生活が一日の半近くある。小学校の地区児童会と自治会が密接につながりを持つようにすることが、本来の形だと思います。団地まつりの模擬店に参加していただいた時、代表の方とこの件について話しあい、かなり理解いただきました。来年度からは、自治会の役員の中に、老人会、児童会共積極的に入っていただき、輪を広げて行こうと考えています。」

■これからもガンバってください。公民館にも御協力願います。

「次回の地区を指名していただけますか。」

「そうですね。近くのあかしや住宅へ。」

■今日はお忙がしい中、ありがとうございます。

地区 体育祭

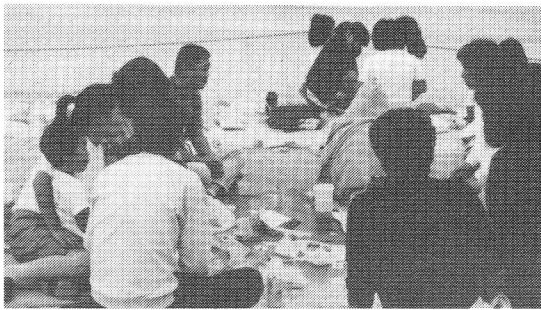
今年も、体育祭に参加でき楽しい一日でした。秋空の下で、子供達の応援にこたえ、パパもママもがんばっておられました。私も体育委員として、お手伝いする事になりました。何も分からなかったのですが、今回参加して色々勉強になりました。プログラム作成にも新しい種目をとり入れ、幼児から、成人まで楽しくどなたでも参加できる種目を考えました。プログラムの中でも、成人女子の、ふうせん割りも人気ありました。

私も年齢を忘れふうせん割りに挑戦、皆さん「ヒップ」に自信のある方ばかり私も負けてはいません。パンパンと割れる音すごかったです。参加されたお母さん方「けつ庄」下がりましたか？

プログラムの最後をかざる地区対抗リレーです。成人のリレーはアベックで参加になっていきますので、近所のご主人と二人組で競争するのです。うんどう不足の奥さま「すってんころり」と一回転までいかず、ぬいたり、ぬかれたりで一位争いのシーソーゲームでした。競技に参加下さった皆さんお疲れさまでした。

最後に役員の皆さん色々ご指導ありがとうございました。

T
S



十月十二日、地区運動会がありました。秋には、たくさん行事があるけれど、地区運動会も楽しみの一つです。私は、たくさんの種目に出場しました。その中で一番うれしかったのは、マラソンです。マラソンでは一位になって、表彰状とメダルと賞品をもらったのです。走るの、しんどくて、苦しく、つらいけど、一生けん命がんばりました。初めは、話が出来るぐらいの余裕があったんだけど、赤い道を走っている時なんか、足が思うように動きませんでした。一番しんどかったのは最後の一周ですが、そこではみんなの「がんばれー」という声に、はげまされて力いっぱい走りました。ゴールインノゴールの線をふむと、役員のおばさんに一位と書いた紙をもらいました。その時は、本当にうれしかったです。 公社 広瀬真美

体育祭成績

●リレー

小学生男子の部
一位 東町A・二位東丘・三位公団

A
小学生女子の部
一位 東町A・二位公団B・三位あ

かしや
成人男女の部
一位 公団B・二位東丘・三位深谷3

●マラソン優勝者

小学生男子 深谷3 大田英介

小学生女子 公社 広瀬真美

中学生、30才以上男 東町 稲留純一

高校生、29才迄男 東丘 杉本慎太郎

成人女子 東町 田中利佳



地区親善

ソフトボール大会

十一月二日

東丘小学校グラウンド

● 優勝

公社チーム

● 準優勝

公団Aチーム

● 三位

東町チーム

● 四位

桜ヶ丘チーム

分館ソフト・

ボールに参加して

東丘小教諭 築山利之

久しぶりのバッターボックス、しかも、第一打席。ピッチャー赤井君の、ストライクを取りにきた。ゆるい球を、おもいつきり引っぱったら、もう少しでファールかな?と思えるレフトへの大飛球。レフトの差し出すグラブの上を越えて、三ラン。これは、打たせてくれた赤井君に、お礼を言うべきでしょうね。

十月中ばに、呼びかけがあったものの、都合のつく職員は、わずか五名だけで、公民分館のソフトボール大会への参加は、あきらめていたところ、前日になって、

急に、深谷第二との合併話。

という訳で、初めのシーンとなるのですが、急造チームでありながら、結果は一勝一敗。試合の方は、好プレイより、珍プレイの続出で、だからこそ、本当に、楽しんでソフトボールをやった、という気になりました。

前述の赤井君や、何人もの卒業生達も、お父さんお母さんに混って、活躍しており、準備から当日の運営まで、多数の方のご苦労は大変なことでしょうが、とても意義ある催しだと思います。

今後、増々盛会になり、東丘職員チームも独立で参加できるようになれば……と、いうのが、この日楽しませていただいた我々全員の感想でした。

公団東町まつり

実行委員長 松田勝朗

私達公団東町の年間行事で、中心的な行事である「まつり」が去る十一月九日(日)、各団体の協力のもと、開催をし、大成功に終了しました。

当住区の大人も、子供も参加し、みんなで作りあげていく事を「テーマ」に取り組み、多彩な出店があり、午後から雨が降ったにも、かかわらず、居住区の五割以上の人があり、一部出店で品切れの状態があったほど、盛況でありました。又、まつりを通じて、大人も、子供



も「ふれあい」を大事にし、作りあげる喜びを感じた事と思います。又、当団地は四十年代建設であり、定住化が進み、子供も大きく成長し、大人も高齢化が進んでいます。そう言う中で、当団地まつりが伝統的なものに発展する事を願い、諸問題が山積みしていますが、安心して住みつけられる、公団住宅をめざして私達の町の「ふるさと」作りの一翼になれば、幸いかと存じます。又、当団地まつりに、御協力いただきました皆様方に、本紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

自治会発足

二十周年を迎えて

東町自治会

会長 吉田 昭

東町三ノ三自治会発足二十周年を心からお慶び申し上げます。

昭和四十一年に当住区が出来まして以来、今日まで、常に充実した活動を展開し、発展させてこられました諸先輩の皆さま、会員の皆さまに心から敬意を表します。

住区の皆さんは、それぞれが、異なった仕事や、考え方の集まりの中で、共通したものを求めあって、独自の個性・歴史と伝統を十分生かし、自主的に活動を押し進め、且つ変化に対しても迅速・的確に対応され、勇気と使命感を持って、その都度、発想や判断を決断実行してこられました諸先輩に、未熟なわたし達は、頭の下る思いです。

わたし達も一人ひとりが、失敗を恐れず、強固な、相互信頼の上に立って、発想を転換し、新たな生成発展へ向けて、道を切り拓いて行きたいのだと念じております。

当住区内における諸問題も、山積しておりますが、一つひとつを分析し、会員のみなさまと十分に話し合い、ともに励まし合って、解決のために、努力をして行きたいと考えるものであります。

もちろん、わたし達自治会活動は、ボランティア精神なくして、その活動は、

あり得ないものと考えます。したがって、全会員・役員の皆さんが一層の団結と、理解を深めあって、明日への喜びを求めて、前進したいと考えます。

輝かしい歴史の二十周年を迎え、さらに全会員みなさんの、英知と勇気を結果として、自治会活動の発展を祈念いたします。

ゲートボール場完成

山田寿太郎

明けましてお目出とうございます。

千里ニュータウンができて二十数年がたちました。東町に来た当時は、まだ工事中で風が吹くと砂埃がひどく、千里砂漠といわれていました。山肌をけずって植え付けた芝生の中に、種から生えた数センチの松が、いま十メートルをこす大

木になっていきます。千里中央へ行く道で、懐かしいその松を見ながら通っています。

当時は三十代の若い夫婦と子供の町でしたので、子供のための施設が十分ありません。それから二十年、その子供達も結婚して子供をもつ人もでており、東町は三世代の町となりました。今後は老人のための町づくりが要求されています。老人が集まって楽しく過ごせる場所と施設です。

東丘保育所前の広場で、毎週水曜日午前、ゲートボールの練習が出来るようになりまして。ゲートボールは戸外の適当な運動で、頭の訓練にもなります。若い人の間にもはやっており、また、お母さん方も子供を横で遊ばしながら練習できます。二人の審判資格をもつ人が丁寧に教えていますので、どなたでも奮ってご参加ください。

千里東丘少年野球部の 今年の活躍ぶり

今年1月に合併(東丘タイガースと東町ニューライオンズ)し今年も残すところ僅かになりましたが、今年の活躍ぶりは(学童6年生)

- 第26回千里ニュータウン少年野球大会 優勝
- 第7回千体協四住区リーグ戦大会 優勝
- 第11回読売旗争奪千里少年野球大会 準優勝
- 第10回朝日旗争奪千里少年野球大会 準優勝
- 関西団地軟式少年野球理事長杯 第三位
- 第27回豊中市夏季少年野球大会 第三位

と大活躍をしていますが残る大会に向けて子供達は、一生懸命練習に励んでいます。又、ジュニア(五年生)も第26回千里ニュータウン少年野球大会第三位、関西団地新人リーグ戦の予戦を勝ち進み、決勝リーグに進出し、活躍をしています。

今後とも皆様の御協力と御声援を御願い致します。

ベランダ園芸 本版の年賀状

秋の講座

●植物の話はもちろんだけれど、人生経験上からの現代の社会状況からの親の在り方等、有益な話を面白く聞く事が出来時間オーバーも気にならなく過ごしました。

国安・沖浦

●「園芸アドバイス」をいただく。実質的なアドバイスをしていただけるので、今迄失敗していた植物を今後心して、育てていこうと思います。

高橋

●いよいよ彫り始め、さてどうなる事でしょう。楽しみでもあり、不安でもあります。あかしや

●皆さんの出来上がったものを、試し刷りし、それを見せて頂きました。初めてとは思われない出来ばえ、さて、私のはどうなるのでしょうか。

足立

●回を追うごとに楽しみです。自分の刷ったのを見て、皆様の御感想は如何でしょうか。

X子

●五回目最終日、毎回難かしく出来るのかと心配しながらも、自分なりに納得した作品が出来うれしく思います。佐藤先生のていねいな御指導により、楽しく製作が出来ました。

(講座日誌より)

X子



みかん狩りに

メゾン 前田知香

十一月一日土曜日、私達メゾン地区の子供達は、服部緑地の山本農園に行きました。

お昼ご飯は全員でアスレチック公園で食べ、そこから十分程度歩いた所の山本農園に行きました。あんまり大きな農園ではなかったのですが、(本当にたくさんなっているのかな)などと思いましたが少し山に登ってみると、わりとたくさんみかんがなっていたので、びっくりしました。みかんは大きいみかん、小さいみかんがありました。大きいみかんはすっぱく、あまりおいしくありませんでしたが、小さいみかんは、私のお父さんなど最低十個は食べました。小さいみかんの中でも特においしいみかんのなっている木がありました。みんなでその木を集めてとったので、今頃は、その木のみか

んはないのではないかと心配しています。みんな十個ずつおいしそうなのをバックなり、ビニールなどにつめこみ、また十分の道のりをエッチラオッチラ歩き、六分ぐらい電車でガタンガタンゆられ帰りました。私の家では、二三日もすると四十個もあつたみかんがなくなるというところに……。とってもおいしく楽しいみかん狩りでした。

地域の子供は
地域の大人が
守りましょう

ある日の夕食



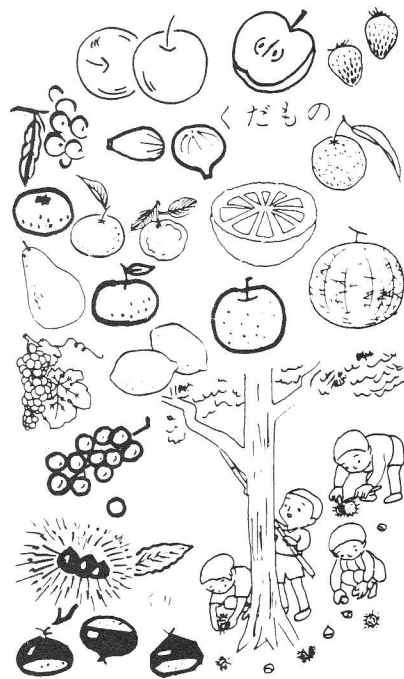
私「お母さん、今日のハンバーグ少し味が違うヨ」
 母「アラノ大変、急いでたから愛情買の忘れてた」
 私「？」
 母「いつも愛情入れてたのに切らしちゃって、次の時は入れるからね」
 父「母さんうまく逃げたな」 E子

「いじめと人権」

人権協 深見淑子

十二月三日、東町会館において、映画会(人権教育講座)が開催されました。映画「道」が上映され、「いじめ」が子供にとってどんなにつらいことか、そして、今なお「古い偏見」が根強く残っていることを知りました。講師の奥野忠治先生は「いじめと人権」について、長年教職についておられた経験から、分りやすく話して下さいました。

「いじめ」には、被害者、加害者、傍観者、観衆がいること。そして、傍観者や観衆が勇気を持つことが「いじめ」をなくす重要な役割をはたすこと。又「いじめ」に会っている子供は、だまってお我慢していても何らかの信号を親や先生や、まわりの大人達に出しているはずなので、その信号を見落さず、複数の大人達が知恵を出し合って解決していかなければならないことを、映画と奥野先生の講演からさとりました。(参加者、三十二名)



今年度も多彩な行事が好評の内に無事終了し、あとは恒例の「新春囲碁大会」を残すのみとなりました。これも住区の皆様方の御協力のおかげと、役員一同感謝致しております。「新春囲碁大会」には奮って御参加ください。

開催予定日 六十二年一月二十五日 役員一同

編集後記

編集作業は始めてと、辞書を片手に、赤えんぴつを持ち、字数を数え、レイアウトに頭をひねり、協力の未出来上った「公民分館だより」と、ふれあいの輪。皆様にはその都度、心良く記事をお寄せ頂き編集委員一同、厚くお礼申し上げます。親しみのある記事を満載したく、今後共、ご支援ご協力をお願い申し上げます。 編集委員一同